令和6年度施策評価シート（評価対象年度：令和5年度）

基本政策【分野】	災害や危険から命と暮らしを守る 強くしなやかなまちづくり 【防災・安全分野】	**施策**	02_消防・救急	**所管部長 取りまとめ所属**	消防長 消防総務課
施策の内容	火災をはじめ、あらゆる災害から市民を守るため、消防施設や資機材等の適切な整備とともに、救急救命士の養成等の人材育成に取り組み、消防・救急体制を強化します。 また、火災予防や救急車の適正利用など、市民一人ひとりの消防・救急意識を高めるため、必要な意識啓発や支援を推進します。				
めざす姿	迅速かつ的確に対応できる消防・救急体制が整い、火災をはじめ、あらゆる災害から市民の生命・身体・財産が守られています。				
重点事業	（仮称）秦野市・伊勢原市共同消防指令センター整備事業				
施策構成事業	火災予防事業費	応急救援体制強化事業費	消防職員研修費		
	消防本部・署施設整備事業費	消防団施設整備事業費	消防水利施設整備事業費		
	消防車両等整備事業費	消防署本署庁舎整備事業			

評価

進捗評価	**概ね順調**	**評価の 判断理由**	共同消防指令センターは令和７年度運用開始に向けて順調に進捗しています。 消防本部・署施設整備事業では、作業部会を設置し８回開催、移転候補地の選定や設備の検討などを行いました。 救急救命士の養成は、毎年１名の養成が順調に進んでおり、全救急隊８隊中６隊が全員救急救命士となっています。 火災予防や救急車適正利用は、各イベントで、出火時における早期通報の重要性、住宅用火災警報器の設置及び更新の促進、応急処置や救急車の適正利用などを市民に啓発しました。
施策推進上の課題･環境変化	消防本部・署施設整備事業は、移転候補地の決定に至らないことが課題となります。 消防団員の充足率は他都市と比較しても高い水準ではありますが、少子高齢化の進展や地域活動に対する意識の希薄化等により消防団員数が減少傾向であることが課題となります。 救急車の適正利用に関しては、各イベントなどでPRはしておりますが、高齢の傷病者の増加により、救急件数は毎年増加しており救急需要への対応に課題があります。		

評価の経過	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
	概ね順調				

施策推進の方向性

方向性	**継続**
総評・今後の施策推進方針	秦野市・伊勢原市共同消防指令センターの庁舎が完成しました。 消防本部・署施設整備事業は、関係各課と協議を重ね、令和６年度に移転候補地を決定することを目標に進めます。 消防救急体制の強化では、各隊及び指令員等に救急救命士を配置出来るよう養成を行います。 消防団員の充足率については、イベントで啓発活動を行い、１００％を目指します。 火災予防や救急車の適正利用に関しては、各種イベントで市民への啓発を継続的に取組みます。

成果指標

成果指標名 **指標の定義**	**現状値**	**R５ 実績値**	**R６ 実績値**	**R７ 実績値**	**R８ 実績値**	**R９ 実績値**	**R９ 目標値(方向性)**
出火率 人口１万人当たりの出火件数	**2.8件 (H29-R3の平均)**	**2.1件**					↘
消防団員の充足率 消防団の条例定数に対する団員数	**97.1% (R4)**	**96.2%**					**100%**
消防・救急体制に対して安心感を持つ市民の割合 市民意識調査で「そう感じる」「どちらかといえばそう感じる」と回答した人の割合	**55.7% (R4)**	**60.5%**					↗

<table>
<tr><th colspan="4">重点事業の取組内容</th></tr>
<tr><td>事業名</td><td colspan="3">（仮称）秦野市・伊勢原市共同消防指令センター整備事業</td></tr>
<tr><td>事業内容</td><td colspan="3">複雑・多様化する災害に、将来にわたり適切かつ確実に対応できる消防体制を構築するため、（仮称）秦野市・伊勢原市共同消防指令センターを整備します。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">取組工程</td><td rowspan="2">項　目</td><td colspan="2">令和5年度</td></tr>
<tr><td>計画</td><td>実績</td></tr>
<tr><td>共同消防指令センターの建設</td><td>工事</td><td>工事</td></tr>
<tr><td>指令システム・消防救急デジタル無線の整備</td><td>設計・整備</td><td>設計・整備</td></tr>
<tr><td>応援体制・部隊運用等の構築</td><td>検討</td><td>検討</td></tr>
<tr><td>令和5年度
取組内容</td><td colspan="3">【共同消防指令センター建設】
●秦野市・伊勢原市共同消防指令センターの庁舎が完成しました。
【指令システム・消防救急デジタル無線の整備】
●令和5年10月に公募型プロポーザル方式により企画提案を求めた結果、株式会社富士通ゼネラルが優先交渉権者に決定しました。なお、令和６年2月に同優先交渉権者と業務委託契約を締結しました。
●先進都市の視察を実施し、総合指令システムやレイアウト、運用状況等の確認を行いました。
●総合指令システムに導入する機器選定や運用方法等について、定例会議・分科会等を随時開催し協議しました。
【応援体制・部隊運用等の構築】
●部隊運用等について、定例会議・分科会等を随時開催し協議しました。
【その他】
●共同消防指令センターの正式名称が「秦野市・伊勢原市共同消防指令センター」に決定しました。</td></tr>
<tr><th colspan="4">重点事業以外の取組内容</th></tr>
<tr><td>令和5年度
主な取組内容</td><td colspan="3">●救急救命士１名、指導救命士１名の養成を行い救急体制の強化を図りました。
●消防団車両及び車両積載品を更新することにより災害対応力の強化に努めました。
●消火栓を日向地区に１基設置し、火災等の災害による被害の軽減を図りました。
●春・秋の火災予防運動をはじめ、各種研修会を実施し防火意識の高揚を図りました。
●応急処置や救急車の適正利用などイベントや講習会を実施し市民に啓発しました。</td></tr>
</table>